

平成 29 年 6 月 13 日

大雪山関係者各位

環境省北海道地方環境事務所  
上川・東川・上士幌自然保護官事務所  
北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也

大雪山における避難小屋・野営指定地の利用実態調査と登山道の荒廃状況の情報収集への協力について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、当方の研究及び国立公園管理にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、大雪山国立公園では、管理人が常駐しない避難小屋・野営指定地は利用実態が不明です。また、約 300km とも言われる歩道の管理は大きな課題です。

2014 年には避難小屋・野営指定地の利用状況の投稿サイトを運用し、約 40 件の書き込みをいただきました。このたび同様に登山道の荒廃状況の投稿サイトを立ち上げ、関係者および一般の登山者のみなさまに、レポートしていただく調査を、別紙の要領で計画いたしました。可能な限り多くの団体のご協力を得て、広報して行きたいと考えております。

つきましては、この調査の実施および広報にご協力いただけるかご検討いただけますと幸いです。よろしく願いいたします。

敬具

調査実施・連絡先

北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

電話&amp;FAX 011-706-2452

電子メール [tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp](mailto:tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp)

山レポ「お宿帳」大雪山の宿泊レポート  
避難小屋と野営指定地の利用状況調査にご協力ください

大雪山国立公園には、8つの避難小屋、12の野営指定地があります。登山シーズンに管理人が常駐するのは、黒岳と白雲岳で、その他の場所では、何人くらいの方が利用されているかという基礎的な情報がない状況です。利用実態のデータは、今後の大雪山の管理と、避難小屋と野営指定地のあり方を検討する上で欠かせません。ただし、調査員を配置することなどは、大きな経費も予想されます。

つきましては、大雪山に登山されるみなさまに、通過および宿泊された避難小屋・野営指定地・その他の場所での、宿泊者数およびテント数の記録に、ご協力をお願いするものです。

実施主体：北海道大学

協力：… (ご協力いただける団体名を列挙いたします)

・山行の際に、以下の場所に宿泊または通過された場合に、避難小屋は人数、野営地はテント数を記録してください。

避難小屋：黒岳石室、旭岳石室（姿見）、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、美瑛富士、十勝岳、上ホロカメットク

野営地：黒岳、裏旭、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、沼ノ原大沼、沼ノ原分岐、五色の水場、トムラウシ北沼、トムラウシ南沼、三川台、扇沼山、双子沼、美瑛富士、上ホロカメットク、ブヨ沼、小天狗のコル

・記録された結果を、以下のインターネットサイトにアクセスし、投稿して下さい。

<https://goo.gl/forms/8uCnd6VPlyTu1f3S2>



・とりまとめた調査結果は、大雪山の管理に生かすとともに、ご協力いただいたみなさまにも報告いたします。

調査実施・連絡先

北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

電話&FAX 011-706-2452

電子メール [tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp](mailto:tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp)

## 「山レポ「お宿帳」大雪山の宿泊レポート」のイメージ（スマホ）



### 山レポ「お宿帳」 大雪山の宿泊レポート

大雪山では登山道や避難小屋、野営地、トイレの維持管理が課題ですが、その利用実態は明らかではありません。調査員を配置するのも難しいため、登山者の皆様からのレポートに期待しています。

ご自身が登山された際に、宿泊された避難小屋と野営地に、どれくらいの登山者がいたかを教えてください。施設の管理や今後の方針を検討する際の基礎的な資料となります。ご協力よろしくお願いします。

北海道大学大学院農学研究院 愛甲哲也  
環境省北海道地方環境事務所

6月から9月末まで避難小屋や野営地に宿泊された場合に、自分たちも含めて泊まっていたおおよその人数を教えてください。

対象とする施設は、以下です。  
避難小屋：黒岳石室、旭岳石室（姿見）、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、美瑛富士、十勝岳、上ホロカメットク  
野営地：黒岳、裏旭、白雲岳、忠別岳、ヒサゴ沼、沼ノ原大沼、沼ノ原分岐、五色の水場、トムラウシ北沼、トムラウシ南沼、三川台、扇沼山、双子沼、美瑛富士、上ホロカメットク、プロ沼、小天狗のコル

※本調査では、利用の実態を把握する目的で、緊急時以外の宿泊を認めていない旭岳石室、野営指定地ではない沼ノ原分岐、五色の水場、北沼、三川台、扇沼山を含めています。

調査実施・連絡先  
北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也  
060-8589 札幌市北区北9条西9丁目  
電話& F A X 011-706-2452  
電子メール [tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp](mailto:tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp)

#### 6 泊目の場所

選択

#### 6 泊目の小屋の宿泊人数（自分たちも含めて）

回答を入力

#### 6 泊目の野営地のテント数（自分たちのテントも含めて）

回答を入力

#### 気づいた点・気になった点

宿泊・野営に関する状況について、気付いた点、気になった点などがあればご記入ください。

回答を入力

#### お名前／イニシャル／ニックネーム \*

入力重複を確認するためご記入ください。

回答を入力

#### メールアドレス

調査結果の配信をご希望される方は入力ください。

回答を入力

1/1 ページ

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

<https://goo.gl/forms/8uCnd6VPlyTu1f3S2>



大雪山登山道レポート  
登山道の荒廃状況の調査にご協力ください

大雪山には約 300km の歩道があります。登山道では、過剰な利用や施設の老朽化、気候変動への影響などから、その維持管理が大きな課題となっています。

整備の優先度の把握や、メンテナンスのために、みなさまに情報収集へのご協力をお願いいたします。補修や対策が必要だと思われた場所について、写真を撮影し、場所、状況、周囲の環境などを教えて下さい。登山中でも、下山後に自宅からでも結構です。

該当場所の管理者への連絡、大雪山登山道関係者情報交換会での情報共有をいたします。ただし、すぐに補修や対策が行えるとは限りませんので、ご了承下さい。

実施主体：大雪山・山守隊／北海道大学農学研究院・地球環境科学研究院

協力：…（ご協力いただける団体名を列挙いたします）

<https://goo.gl/tWUNzg>



調査実施・連絡先

北海道大学大学院農学研究院 准教授 愛甲哲也

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

電話&FAX 011-706-2452

電子メール [tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp](mailto:tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp)

## 「大雪山登山道レポート」のイメージ（スマホ）

### 大雪山登山道レポート

登山道荒廃箇所の情報収集にご協力下さい。補修や対策が必要だと思われた場所について、写真を撮影し、場所、状況、周囲の環境などを教えてください。登山中でも、下山後に自宅からでも結構です。該当場所の管理者への連絡、大雪山登山道関係者情報交換会での情報共有をいたします。ただし、すぐに補修や対策が行えるとは限りませんので、ご了承下さい。 大雪山・山守隊 / 北海道大学 連絡先：北大農学研究院 愛甲 哲也  
tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

#### 写真のアップロード\*

撮影された写真をアップロードして下さい。

ファイルをアップロードするには、ここをクリックします (<10MB、サポート: jpg, jpeg, png, gif)。

#### 地図上の場所の指定\*

地図を動かして、矢印を該当箇所に合わせてください。地図はズームもできます。

住所または場所の検索

#### 場所の詳細

地図上での指定が難しい場合は、具体的な場所を直接入力をお願いします。

#### 具体的な状況\*

侵食やぬかるみなどの種類、長さや幅などの規模、周囲の地形、植物などについてできるだけ具体的に教えてください。

#### お名前

不都合のない範囲で教えてください。ニックネームでもかまいません。

#### 連絡先

集計結果や大雪山・山守隊の活動をお知らせいたします。メールアドレス等、ご希望される方法での連絡先をご記入下さい。ご記入はあくまでも任意です。いただいた情報は、厳密に管理し、登山道に関する情報収集と山守隊の広報にのみ使用します。

<https://goo.gl/tWUNzg>

